

改訂日 2021 年 08 月 24 日(第 18 版)

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	プリグロックス® L (ジクワット・パラコート液剤)
会社名	シンジェンタジャパン株式会社
住所	〒104-6021 東京都中央区晴海 1 丁目 8 番 10 号オフィスタワーX 21 階
担当部門	HSEグループ
電話番号	03-6221-1027
E メールアドレス	SDS-JP@syngenta.com
緊急連絡先	同上
推奨用途及び使用上の制限	除草剤

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性:	金属腐食性化学品	区分 1
健康に対する有害性:	急性毒性(吸入)	区分 1
	皮膚腐食性/刺激性	区分 2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 3(気道刺激性)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 1
環境に対する有害性:	水生環境有害性 短期(急性)	区分 2
	水生環境有害性 長期(慢性)	区分 2
* 記載がないものは「区分に該当しない(分類対象外を含む)」または「分類できない」		

ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:	危険
危険有害性情報:	金属腐食のおそれ 吸入すると生命に危険 皮膚刺激 眼刺激 呼吸器への刺激のおそれ 長期または反復暴露による臓器(肺、眼)の障害のおそれ 水生生物に毒性 長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き:

【安全対策】

他の容器に移し替えない。
ミストを吸入しない。
屋外または換気の良い場所でのみ使用する。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用する。
取扱い後はよく手を洗う。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしない。
必要な時以外は、環境への放出を避ける。

【応急措置】

物的被害を防止するためにも流出したものを吸収する。
吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。直ちに医師に連絡する。
皮膚に付着した場合:多量の水と石鹸で洗う。
皮膚刺激が生じた場合:医師の診察／手当てを受ける。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯する。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受ける。
暴露した場合、医師に連絡する。
気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受ける。
漏出物を回収する。

【保管】

容器を密閉して換気の良い場所で保管する。
施錠して保管する。

【廃棄】

内容物や容器を廃棄する場合は、国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄する。

国／地域情報

毒物及び劇物取締法 第2条 毒物

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別

混合物

化学名【一般名】

1,1'-エチレン-2,2'-ビピリジリウムジブロミド
【一般名:ジクワットジブロミド】
1,1'-ジメチル-4,4'-ビピリジリウムジクロリド
【一般名:パラコートジクロリド】

成分	含有量(%)	化学式	官報公示 整理番号	CAS No.
ジクワットジブロミド	7.0	C ₁₂ H ₁₂ Br ₂ N ₂	(5)-3913	85-00-7
パラコートジクロリド	5.0	C ₁₂ H ₁₄ Cl ₂ N ₂	(5)-3722	1910-42-5

その他（水、界面活性剤、催吐性物質、色素、臭気性物質、苦味物質 等）	88.0	—	—	—
------------------------------------	------	---	---	---

4. 応急措置

一般的アドバイス	緊急連絡先、中毒情報センターや医師に電話する場合、または治療を受けに行く場合は、製品容器、ラベル、安全データシートを手元に用意する。
吸入した場合：	被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。安静・保温に努め、鼻をかませ、うがいをさせる。直ちに医師に連絡する。
皮膚に付着した場合：	直ちに汚染された衣類を脱ぐ。直ちに多量の水と石鹸で洗う。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当てを受ける。汚染された衣類は再使用する前に洗濯する。
眼に入った場合：	直ちに多量の水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受ける。
飲み込んだ場合：	被災者に意識がある場合は、多量の水を飲ませるなどして胃の中の物を吐き出させ、直ちに医師の手当てを受ける。 可能であれば容器、ラベル、又はこのデータシートを医師に示す。
【医療関係者への情報】	飲み込んだ場合には、消化器障害、ショックのほか数日遅れて肝臓、腎臓、肺等の機能障害を起すことがある。 基本的処置： 可能な限り早い胃洗浄と活性炭投与を行う。 吸着剤として活性炭が入手できない場合は、天然ケイ酸アルミニウムあるいはベントナイトの飲用、または胃内注入を行う。 吸着剤と下剤を交互に反復投与する。 DHPを行う。 呼吸管理： 酸素吸入は中毒の初期症状を悪化させるので、止むを得ない場合に限り行う。

5. 火災時の措置

消火剤	小規模火災時： 泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス 大規模火災時： 泡消火剤又は噴霧放水（直状放水は行わない）
使ってはならない消火剤	棒状放水
特有の危険有害性	火災によって刺激性又は毒性のガスを発生するおそれがある。
特定の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 移動不可能な場合には、容器及びその周囲に散水して冷却する。 汚染された消火水を排水路や河川等に流入させてはならない。本品は土壌と接触すると不活性無毒化するので、汚染消火水を土壌と接触するなどして不活性無毒化する。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	「7. 取扱い及び保管上の注意」および「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行う。 関係者以外の立ち入りを禁止する。 作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
環境に対する注意事項	河川等に排出され、環境に影響を与えないように注意する。 危険でなければ漏れを止める。
封じ込め、浄化の方法及 び機材除去	本品は土壌と接触すると不活性無毒化する。漏洩した液は土壌等でその流れを止め、安全な場所に導き、密閉可能な空容器にできるだけ回収し、そのあとを土壌でおおって十分接触させたのち、土壌を取り除き、多量の水を用いて洗い流す。
二次災害の防止策	風下の人を退避させ、漏洩した場所の周辺にはロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	・医薬用外毒物。取扱いには十分注意する。 ・個人用保護具に関する情報については「8. ばく露防止及び保護措置」を参照する。 ・吸い込んだり、眼や皮膚に触れたりしないように十分注意する。 ・取扱い時には飲食、喫煙をしない。 ・製品の飛散、漏出等がないようにする。 ・ラベルをよく読んでから、保管・使用する。
保管	・容器を密閉して換気の良い冷暗所で保管する。 ・鍵をかけて保管する。 ・小児の手の届かない所に保管する。 ・食品、飲料や飼料と区別して保管する。 ・誤飲の危険を避けるため、保管の際は他の容器には絶対に移しかえない。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	・取扱い時にはできるだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。 ・取扱い場所の近くに洗眼および身体洗浄のための設備を設ける。
管理濃度/許容濃度	ジクワットジプロミド TWA(吸入濃度) 0.5 mg/m³ (陰イオン) ACGIH TWA(呼吸濃度) 0.1 mg/m³ (陰イオン) ACGIH パラコートジクロリド TWA(吸入性成分) 0.01 mg/m³ シンジェンタ

		TWA(吸入濃度)	0.05 mg/m ³ (陰イオン) ACGIH
保護具	呼吸器用の保護具	防護マスク	
	手の保護具	不浸透性手袋	
	眼の保護具	ゴーグル型保護眼鏡	
	皮膚及び身体の保護具	耐薬品性エプロン、もしくは不浸透性の衣類、ゴム長靴 等	

9. 物理的及び化学的性質

形状	液体	
色	暗青緑色	
比重	1.06 (20℃)	
pH	4.5	
オクタノール／水分配係数	ジクワットジブロミド	log Pow = < -4.6
	パラコートジクロリド	log Pow = < -1

10. 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性	通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	金属(特にアルミニウム、軟鋼、鉄)に対して腐蝕性がある。
避けるべき条件	通常条件に従っているとき、特になし。
混触危険物質	アルミニウム、軟鋼、鉄
危険有害な分解生成物	通常の条件下では生成しない。 加熱や燃焼により分解し、有害ガスを発生するおそれがある。

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	LD ₅₀ (ラット)	2083 mg/kg(♂) 2191 mg/kg(♀)
	LD ₅₀ (マウス)	2719 mg/kg(♂) 2629 mg/kg(♀)
急性毒性(経皮)	LD ₅₀ (ラット)	>2000 mg/kg(♂,♀)
急性毒性(吸入)	推定値(計算値)が 0.05mg/L 以下であることから区分 1 とした。	
皮膚腐食性・刺激性	ウサギ	刺激性あり
眼に対する重篤な損傷・刺激性	ウサギ	刺激性あり
呼吸器感作性又は皮膚感作性	モルモット	皮膚感作性なし
生殖変異原性	ジクワットジブロミド及びパラコートジクロリドは動物実験で生殖変異原性を示さなかった。	
発がん性	ジクワットジブロミド及びパラコートジクロリドは動物実験で発がん性を示さなかった。	

生殖毒性	ジクワットジブロミド及びパラコートジクロリドは動物実験で生殖毒性を示さなかった。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 3(気道刺激性)に分類されるジクワットジブロミド及びパラコートジクロリドをカットオフ値の 10%以上含有することから区分 3(気道刺激性)とした。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分 1 に分類されるジクワットジブロミド及びパラコートジクロリドをカットオフ値の 10%以上含有することから区分 1 とした。

12. 環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性	コイ LC ₅₀ (96hr) 47.9 mg/L
	オオミジンコ EC ₅₀ (48hr) 64.8 mg/L
	藻類 EbC ₅₀ (0～72hr) 0.7 mg/L
	ErC ₅₀ (0～72hr) 1.59 mg/L

13. 廃棄上の注意

注意事項	廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従う。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。 空容器を廃棄する場合は、内容物を除去した後に適切に処分する。
------	--

14. 輸送上の注意

国際規制	
国連分類	クラス 8
国連番号	1760
品名	腐食性液体、N.O.S. (パラコートジクロリド、ジクワットジブロミド)
容器等級	III
海洋汚染物質	該当
輸送時の安全対策	運搬に際しては、容器に破損、漏れのないことを確認し、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。直射日光、風雨に直接暴露しない状態で輸送する。

15. 適用法令

農薬取締法	登録番号 第 16397 号
毒物及び劇物取締法	第 2 条 毒物
労働安全衛生法	法第 57 条の 2 通知・表示対象物質 パラコート

PRTR法 法第 57 条の 2 通知・表示対象物質 ジクワット
 第一種指定化学物質 パラコート又はパラコートジクロリド
 第一種指定化学物質 ジクワット又はジクワットジプロミド

16. その他の情報

記載内容の取扱い 製品安全データシートは、化学製品を安全に取扱うための参考資料として、当該化学製品を取扱う事業者提供されるものであって、安全を保証するものではありません。また、ここに記載された数値は規格値や品質を保証する数値ではありません。

この製品安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本品(当該製品)に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。また、記載内容は当該製品の一般的な取扱いについて記載したものです。従って、当該製品を取扱う事業者は、個々の取扱い等の目的への適合性を判断し、この安全データシートや製品ラベルに記載のものを含め、実状に応じたあらゆる適切な予備的措置を講じてください。

当社のいかなる保証違反においての責任は、製品の交換又は購入額の払い戻しに限られます。当該製品を取扱う事業者が、上記の適切な予備的措置を講じなかった場合、シンジェンタは責任を負いません。

問合せ先 担当部門 電話番号
 HSEグループ 03-6221-1027

中毒の緊急問合せ先 財団法人 日本中毒情報センター

中毒 110 番	一般市民向け受信相談 (情報料無料)	医療機関専用有料電話 (1 件につき 2000 円)
大阪 (365 日、24 時間)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365 日、9-21 時)	029-852-9999	029-851-9999

「プリグロックス」はシンジェンタ社の登録商標です。